

令和八年度 山口大学大学院人間社会科学研究所 入学試験問題 解答例・
出題の意図

『専門科目（歴史） 「日本史」』

I

〔出題の意図〕

受験生が、研究史上の論点となっているテーマについて、基礎的事実や歴史的背景、後世への影響などを総体として把握し、それを論理的に記述できるかを問う。

〔解答例〕

小論文的出題であるため、出題の意図に鑑み解答の例は示しません。

II

〔出題の意図〕

受験生が、それぞれの専門にとどまらず、幅広い時代・分野について基礎的な知識を有しているかを問う。

〔解答例〕

小論文的出題であるため、出題の意図に鑑み解答の例は示しません。

III

〔出題の意図〕

受験生が、専門とする時代の史料を、正確に読解する能力を有しているかを問う。

〔解答例〕

著作権の関係上、省略。

IV

〔出題の意図〕

受験生が、専門とする時代の史料の原本を、正確に翻刻できるかを問う。

〔解答例〕

前書改而

添証文

一 銀六拾四貫五百九拾弍弍分九厘壹毛

以上

但過ル嘉永六年丑正月

御改被仰付候証文之前

追々御払下被仰付差引残

元治弍年丑正月元右之辻

右当丑年方利足加詰

三朱付ニル元利御返済迄

徳佐村

御領分御米之内御本米

五拾石宛御免切手を以当

丑年方年々霜月五日を限

速ニ御下渡被仰付和市之
儀者貴様方少シ茂迷惑ニ
不相成様右御切手御下渡
被仰付候節之奥阿武郡御切手
萩町相場を以御壳払
被仰付右代銀辻前文元利
之内江御払入被仰付候事
一前文之通ニ候得者貴様方下地
大段之利償江引添当丑年ふ
元利御返済迄之儀茂年々残
元銀江当五朱利宛被致利償
候筋合ニ相当リ候分被奉遂
御馳走候段達
上聞拔群之御出精筋神妙ニ
被
思召上候事